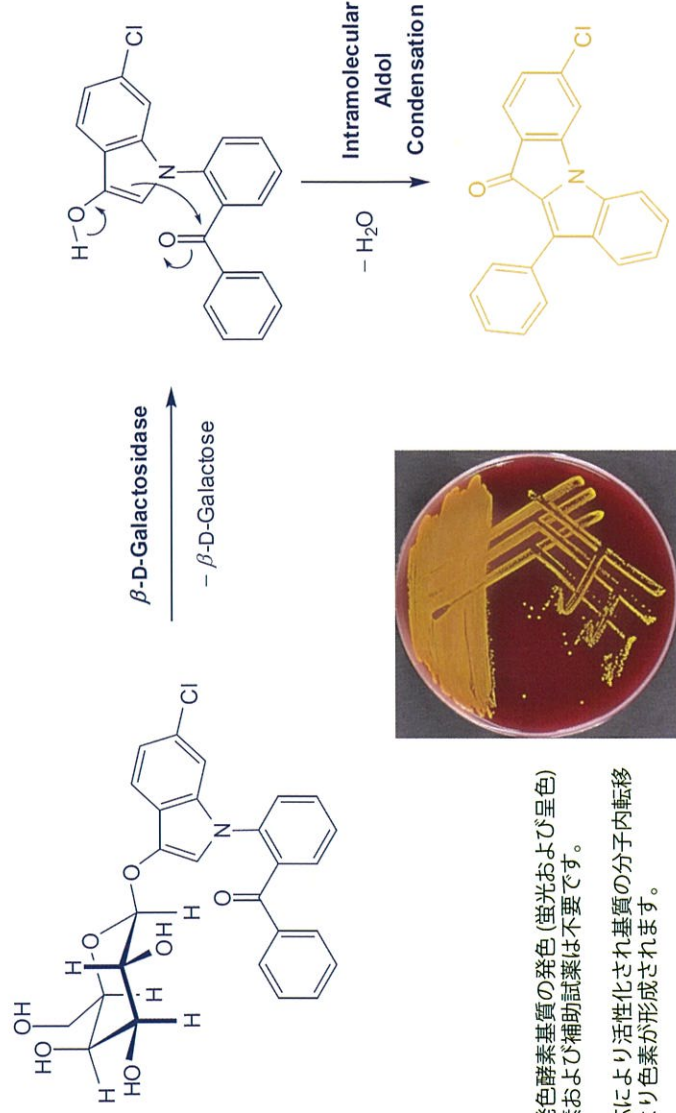


## Aldol<sup>®</sup> 発色酵素基質

Aldol<sup>®</sup> 発色酵素基質は測定系に合わせてカスタマイズでき、多様なアプリケーションに対応します。細菌自体を染色することも、測定溶液の化学的・生化学的・物理的な変化を呈色により視覚化することもできます。ある種のAldol<sup>®</sup> 発色酵素基質はポリエチレンやパラフィンオイルに容易に溶解して、明るい蛍光を持続して発します。



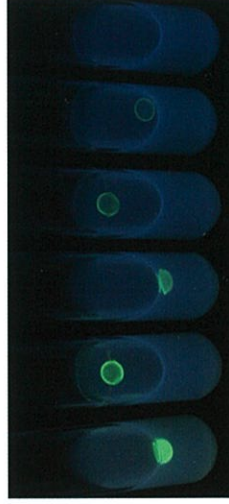
Aldol<sup>®</sup> 発色酵素基質の発色（蛍光および呈色）には酵素および補助試薬は不要です。

酵素反応により活性化され基質の分子内転移反応により色素が形成されます。








アルドール反応によって得られるこの新規の色素は、Aldol<sup>®</sup> 基質が酵素反応を受けることから生成します。生成する Indoleindole 色素は黄～暗赤色を呈します。

色素によって水溶液中で蛍光を発するもの、疎水性の環境で蛍光を発するもの、固体でも蛍光を持つものがあります。蛍光スペクトルはマトリクスの影響を受け黄色から赤および緑の範囲にわたります。

ある色素はポリプロピレンのようなポリマーのように高い親和性を持ち、材料に深く浸透して持続的に強い蛍光を発します。この性質を使って、サンプリングのマトリクスから蛍光シグナルを分離することが可能になります。アッセイにより生成した色素をプレート上のウエル、ピペットチップ、あるいはビーズに吸着させます。サンプルを洗い流したのちに蛍光を読み取ることによってマトリクスの妨害のない測定が行えます。



特徴	利点
発色反応に酸素を要しない	嫌気性下で染色可能
補助試薬(金属イオン、ジブゾニウム塩など)が不要	反応系が複雑にならない、低い毒性
反応中間体に毒性がない	よりよく細胞が増殖
ほとんど拡散しない	精密な染色ができる
黄、橙、赤に発色	青色染色を補充し、アフリケーションが広がる
比色および蛍光測定が可能	多様な用途に適合、テジタルイメーシング
特定のフラスコ、オイル、エマルジョン中で蛍光を発する	不透明な反応系、クエンチングのある反応系への適用
反応基質にペプチドを使うことができる	プレート上でのペプチド検出

Aldol®基質	色 (白色光)	蛍光 (Ex 366nm)	特徴
Aldol® 495			不溶性色素 ポリプロピレン・エマルジョンなど疎水性の相で最も強い蛍光を発する
Aldol® 515			不溶性色素、最も強く呈色する ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する
Aldol® 518			不溶性色素、最も強く呈色する ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する
Aldol® 484		なし	不溶性色素
Aldol® 470			不溶性色素 ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する (495、515よりも弱い)
Aldol® 458			可溶性色素 (pH>6の水溶液で溶解、pH<6では沈殿) ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する
Aldol® 455			不溶性色素 ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する (495、515よりも弱い)
Aldol® 467			不溶性色素 ある種の膜、オイル表面で蛍光を発する (495、515よりも弱い)

大腸菌		黄色ブドウ球菌	
A-4735_P00	Aldol® 518 beta-D-glucuronic acid	A-4678_P00	Aldol® 470 phosphate, disodium salt
大腸菌/大腸菌群		A-4704_P00	Aldol® 495 phosphate, disodium salt
A-4675_P00	Aldol® 518 beta-D-galactopyranoside	A-4721_P00	Aldol® 515 phosphate, disodium salt
A-4676_P00	Aldol® 467 beta-D-galactopyranoside	A-4688_P00	Aldol® 455 alpha-D-glucopyranoside
A-4679_P00	Aldol® 470 beta-D-galactopyranoside	A-4696_P00	Aldol® 484 alpha-D-glucopyranoside
A-4691_P00	Aldol® 458 beta-D-galactopyranoside	A-4713_P00	Aldol® 518 alpha-D-glucopyranoside
A-4697_P00	Aldol® 484 beta-D-galactopyranoside	セレスチン菌	
A-4701_P00	Aldol® 495 beta-D-galactopyranoside	A-4749_P00	Aldol® 514 inositol-phosphate, ammonium salt
リステリヤ		A-4702_P00	Aldol® 495 inositol-phosphate, ammonium salt
A-4702_P00	Aldol® 495 inositol-phosphate, ammonium salt	緑膿菌	
A-4749_P00	Aldol® 514 inositol-phosphate, ammonium salt	A-4672_P00	Aldol® 470 choline phosphate
サルモネラ		ウエルシュ菌	
A-4683_P00	Aldol® 470 nonanoate	A-4678_P00	Aldol® 470 phosphate, disodium salt
A-4714_P00	Aldol® 458 nonanoate solution, 0.75 M in DMSO	A-4704_P00	Aldol® 495 phosphate, disodium salt
A-4715_P00	Aldol® 495 nonanoate solution, 0.75 M in DMSO	A-4721_P00	Aldol® 515 phosphate, disodium salt



AZmax

アズマックス株式会社  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F  
TEL 03-6661-1090 FAX 03-6661-1091 sales@azmax.co.jp http://www.azmax.co.jp